



平成23年11月17日

<岡山大学薬学部 救急薬学講座を新設>

<概要>

岡山大学薬学部は全国に先駆けて救急薬学講座を新設します。わが国は、東日本大震災から多くのことを学びました。救急・災害医療現場における薬剤師業務の重要性もまた学び得たことのひとつです。救急薬学が救急医療と薬剤師との架け橋となり、救急・災害医療現場で即戦力として活動できる専門的・先導的な薬剤師を育成する道が、今、ここに開かれます。

救急薬学分野の教育方針

大学院医歯薬学総合研究科・薬学部は、救急薬学講座を全国で初めて開設します。東日本大震災では、岡山大学災害医療支援チームに参画した薬学部実務家教員が、災害時における医薬品供給のあり方の緩和措置を厚生労働省に進言し、これが承認され実施に至った事例があります。このことから、救急・災害医療における薬剤師業務の重要性が広く認識されたことになりました。救急薬学講座では、専門的教育から、救急時における薬学的対応まで、生命の尊厳、医療倫理、医療安全への意識改革、医療人として相応しい態度などを教育し、専門的・先導的な薬剤師を育成します。さらに、岡山大学病院における実務実習では、岡山大学病院に開設された3次救急センターでの体験実習を行います。6年間の学部教育後の大学院博士課程では、同センターにおける実践教育を行います。他の医療従事者との密接なチーム連携を身につけ、迅速かつ的確な判断を下せる高度専門薬剤師を全国に輩出します。



岩手県立大船渡病院で医療支援活動に従事する岡山大薬学部教員

岡山大学病院3次救急センターでの教育と研究

平成23年10月より、岡山大学病院3次救急センターには、岡山大学薬学部の教員が救急医療チームメンバーとして常時参画しています。救急薬学講座の創設により、この体制は一層強化され、岡山大学薬学部や大学院生の教育や医学部・歯学部などとの臨床に則した共同研究や新しいプロジェクトを展開します。以上のようにわが国で初めてとなる救急薬学の創設は、今後、様々な災害や救急医療に即応できる薬剤師の育成に貢献します。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・森山 芳則

(電話番号) 086-251-7933